

部門別売上高



2007年3月期における当社グループの連結売上高は8,620億25百万円となり、前期7,951億80百万円から8.4%増加しました。

当社グループの業績を大きく左右するエレクトロニクス市

電子素材部品部門

電子材料



主要製品

積層セラミックチップコンデンサ、コイル・トランス用フェライトコア、フェライトマグネット、希土類マグネット

2007年3月期の業績概要

前期比10.2%の増収。コンデンサは、好調なPC、薄型テレビ向け販売が牽引し、増収。金属磁石はHDD用途の伸びにより増収。

電子デバイス



主要製品

コイル(インダクタ)、高周波部品、EMC対策部品、圧電部品、センサ、トランス、DC-DCコンバータ、スイッチング電源、DC-ACインバータ

2007年3月期の業績概要

前期比28.1%の増収。携帯電話、HDD向け販売増が顕著なインダクティブデバイスの増収及び電源製品等の増収。

記録デバイス



主要製品

HDD用ヘッド、サーマルヘッド、光ピックアップ

2007年3月期の業績概要

前期比3.5%の減収。HDD用ヘッドの販売数量は増加、しかし単価下落により減収。

その他電子部品



主要製品

有機ELディスプレイ、電波暗室、メカトロニクス

2007年3月期の業績概要

前期比55.5%の増収。メカトロニクス、新規事業の増収。

記録メディア製品部門



主要製品

オーディオテープ、ビデオテープ、CD-R、ミニディスク(MD)、DVD、コンピュータ用データストレージテープ

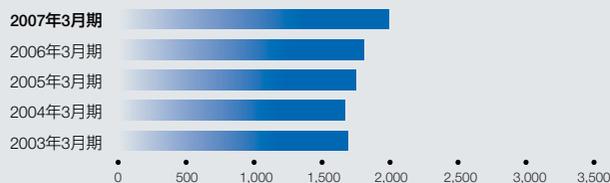
2007年3月期の業績概要

前期比3.9%の減収。民生用オーディオ・ビデオテープは需要減により減収。光メディア、コンピュータ用データストレージテープは増収。

場においては、携帯電話、ノートPC（パーソナルコンピュータ）や薄型テレビの需要が顕著な伸びを示しました。加えて、これら製品の高機能化、多機能化に伴う電子部品搭載点数の増加によって、電子部品の需要は一層拡大しました。

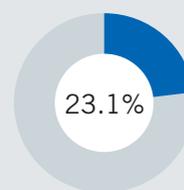
このような経営環境の中、拡大する部品需要に応えるため、積層セラミックチップコンデンサ等の生産能力を増強したことに加え、電源事業の強化を目的とした田淵電機株式会社との資本、業務提携を行いました。

電子材料の売上高推移（億円）

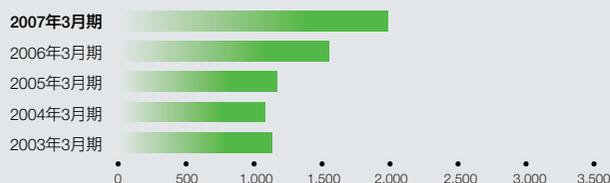


電子材料の売上高構成比

2007年3月期



電子デバイスの売上高推移（億円）

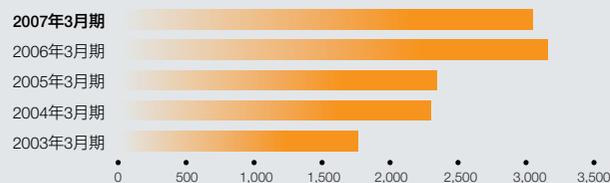


電子デバイスの売上高構成比

2007年3月期

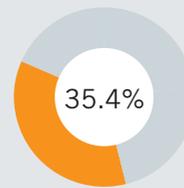


記録デバイスの売上高推移（億円）

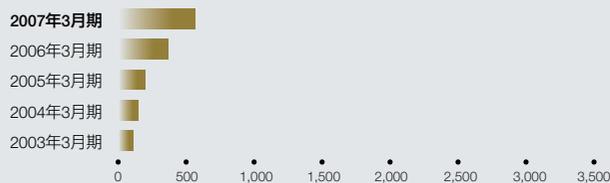


記録デバイスの売上高構成比

2007年3月期

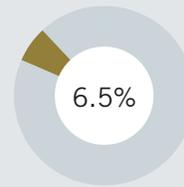


その他電子部品の売上高推移（億円）

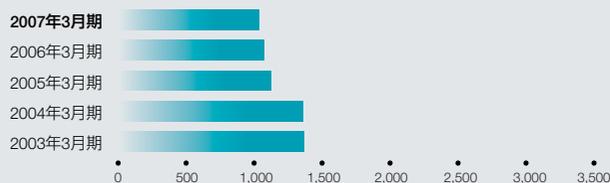


その他電子部品の売上高構成比

2007年3月期



記録メディア製品部門の売上高推移（億円）



記録メディア製品部門の売上高構成比

2007年3月期

